



五つのテスト？

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井 清 治

(函館亀田RC)

いままで3年ごとに開催される規定審議会
で制定案と決議案が審議されていたことは皆
様もご存知のことと思います。今後の規定審
議会では組織規定に変更を加える制定案と、
R I 理事会の見解を表明する見解表明案のみ
が審議されて、地区やクラブから提案される
決議案は、毎年オンラインで開催される「決
議審議会」によって審議されることになりま
した（この決議審議会に投票できるのは地区
で選出された代表議員に限られています）。

2017年度の決議案の中で、四つのテス
トに関連する内容がいくつか出されましたが、
その中のひとつをご紹介します。

<決議案17R-11>

提案者：Haenertsburg ロータリークラブ
（第9400地区：ボツワナ、モザンビーク、南
アフリカ、スワジランド）
承認者：第9400地区大会
（南アフリカ、Limpopo, Polokwane)にて承認
（2017年6月22日～25日）

既存の四つのテストは、ロータリアンとし
ての生き方の礎であり、人との対応と道徳に
向き合う上での理想を反映するものである。
しかし、私たちの環境と脆弱な地球との関係
を反映するものではない。よって、国際ロー
タリーの決議により、国際ロータリー理事會
は、地球との持続可能な関係を深く考えた
「五つのテスト」の案を検討するものとする。
その「五つのテスト」は以下の文言とすべきで
ある。

五つのテスト「Five-Way Test」
言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか
- 5) 未来の世代のために地球を保護するもの
かどうか

原文：Will it PRESERVE PLANET EARTH for
future generations?

趣旨および効果について、四つのテストは
人との対応に関わる言行と倫理を主題として
いる。これに地球に対する対応を加えること
で、ロータリアンによる人道的活動の長期的

な持続可能性に対する倫理的チェックが加わ
る。人びとをロータリー活動の焦点とするこ
とに変わりはない。

—中略—

地域社会全体に対し、ロータリーの中核的
価値観を強調する機会をつくり、それにより
ロータリーとその取り組みに対する認知度を
高めることで「公共イメージと認知度の向上」
が支援される。財務上の影響については、本
決議が実行された場合、R I に大きな財務的
影響を及ぼすことはないと思われる。

以上ですが、皆様はどう思われますか？一
度、クラブでこの内容について討議されてみ
てはいかがでしょうか。

四つのテストはシカゴ・クラブの会員であ
ったハーバート・テラーが1931年に莫
大な借金（今の時代に換算すると約440億
円）のために倒産の危機に瀕していたクラブ
アルミニウム社を再建させるために考えた道
徳的、倫理的な指標であります。

「事業を繁栄に導くための四通りの基準」で
あれば、当然 Four-way tests と複数形にな
るはずですが、これが単数形であるのは、事業
を繁栄に導くためには、四通りの基準を一つ
ずつクリアすればいいのではなく、四つま
とめたものを一つの基準として、そのすべて
をクリアしなければならぬことを意味しま
す。つまり、4本の道ではなく、四つ辻（十
字路）という意味です。経営者は常に孤独で
す。職業を営むうえで進むべき道に迷った場
合、この「四つのテスト」に照らし合わせて、
右に行くべきか左に行くべきか？それとも真
っ直ぐ進むべきか考える経営上の指針として
用いるべきでしょう。確かに素晴らしい指針
であることは間違いありませんが、当時、「四
つのテスト」を知らない数多くの企業も再生
していたはずですし、何といたってテラー
の人間力、経営力で再建したことは間違いな
いことだと思います。

時代も国も、国家の歴史も違います。人も
経済も成長しています。成長というのならば
百年前の人たちよりも私たちは成長している
必要があります。昔と今では時代背景や産業
構造が全く違います。めまぐるしい職業の多
様化する現代で、実際にロータリアン全員に
当てはまるかどうか、良いところは素直に受
け入れ、おかしいところはおかしいと私たち
は考えなければならない時期にきているので
はないでしょうか。

(訳注：「五つのテスト」及び「未来の世代のために
地球を保護するものかどうか」は仮訳です)